

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016/9/5		
所属学部	千葉大学大学院		
所属学科・専攻	工学研究科	デザイン科学専攻	

1. 留学先について

留学先大学名	グラスゴー美術大学/ケルン応用工科大学			
留学先所属学部等	Product Design/ Integrated Design			
留学期間	出発日 2015/9/4	入学日 2015/9/14	修了日 2016/7/31	帰国日 2016/8/9
住居	<input type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート		<input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()
	通学時間	5分/40分		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩/ 徒歩・トラム		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> () 人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 70 %	学食 20 %	外食 10 %	その他 () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	東京海上日動海外旅行保険留学生プラン用		
	大学指定の保険(名称)			<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他	OSSMA加入		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	成田 ⇄ ロンドン(飛行機) ⇄ グラスゴー(夜行バス)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	250万	円	* おおよそでかまいません。			
出処						
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金 20万	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 90万	円	<input checked="" type="checkbox"/> 家族・親戚 60万	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 80万	円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円	
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()		円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	4万	円	<input type="checkbox"/> その他()	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他()	キャッシュパスポート)

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	銀行振込
その他	

2-3. 内訳 * 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			13万	円
海外旅行保険			24万	円
OSSMA			3万	円
査証・在留許可証	ユーロ	100	1万3千	円
住居	ポンド/ユーロ	2200ポンド/2700ユーロ	80万	円
食費	ポンド/ユーロ	1000ポンド/1200ユーロ	26万	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費	ポンド/ユーロ	100ポンド/80ユーロ	3万	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (日用消耗品)	ポンド/ユーロ	200ポンド/160ユーロ	6万	円
その他 (旅行費)	ポンド/ユーロ	900ポンド/750ユーロ	30万	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 ***必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。**

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無	
1 CULTURE, CONTEXT AND CLIENT 1	正規	20ECTS	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 DESIGN THEORY	正規	5ECTS	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 CONTEXT OF CRITICAL INQUIRY IN ART AND DESIGN	正規	5ECTS	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4 …this is design	正規	12ECTS	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
5 observation machines	正規	3ECTS	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
6 how to... foodlab	正規	2ECTS	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
7 Basics in German language and culture	正規	1ECTS	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
8 International AG	正規	2ECTS	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
9 Model making 2	正規	ECTS	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
10 Evolution of service design	正規	4ECTS	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
11			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
12			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
13			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
14			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
15			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
16			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
17			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
18			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
19			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
20			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

*登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

グラスゴー美術大学

原則としてプロジェクトは学科全員が同じものを受講するので登録は不要。週1回のセミナーの授業は、初回ガイダンスの後オンラインで希望登録する。

ケルン応用工科大学

入学2ヶ月前のアンケートに基づき留学課が履修計画を立ててくれるため、交換留学生は優先的に受講希望者リストに載せてもらえる。

各授業で初回の授業に出席し正式な受講者リストに入れてもらう必要がある。

履修計画に含まれていない(受講希望者リストに名前が載っていない)授業も、空きがあれば受講することができる。その際も初回の授業に出席すること。

各学期のシラバスはオンラインで閲覧できる。

3-2. 授業内容、方法に関して

グラスゴー美術大学

学科全員が同じ授業を受ける。グループワークが多い。プロジェクトは長いもので5週間、短いもので2週間。月曜日から金曜日まで原則スタジオで作業することになっていて、月水金に先生とのチュートリアルがある。週1回座学の授業があり、学期の最後にエッセイの提出が義務付けられている。各授業スケジュールとゴールが綿密に決められているが、それに縛られずに学生がそれぞれのやり方を模索して良い雰囲気がある。

ケルン応用工科大学

細かい学科の区分はなく、学校全体でIntegrated Design(総合デザイン)と呼ばれる1つの学科があり、どの分野が専門の人も自由に好きな分野の授業を取れる。授業により長さもミーティングの頻度も異なる。授業のシラバスやスケジュールは曖昧なものが多く、授業進行も成果も学生の主体性に委ねられている。

3-3. 語学力について

グラスゴー美術大学

ネイティブの学生や、ネイティブに対して遜色なく話せる学生が多い。スコティッシュ訛りは慣れるのに時間が掛かる。

ケルン応用工科大学

授業の大半が英語で開講されている。国際色豊かな学校で、学生の英語のレベルもまちまちである。多少英語のレベルが低くても話しやすい空気がある。

3-4. 図書館など学内施設について

グラスゴー美術大学

工房は設備が整っていて、常に複数のテクニシャンが常駐している。図書館は隣の建物で、綺麗で開放的。

ケルン応用工科大学

工房はモデル・金属・木工に分かれていて、それぞれテクニシャンやチューターや常駐している。図書館は大学全体のもので、ドイツ語の文献がほとんど。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

グラスゴー

民間のフラット。フラットは5人の社会人とシェア。学校から徒歩5分の、市街地中心部にある。新しさと利便性から家賃は平均的な学生フラットの1.6倍ほど。レストランやパブが立ち並ぶ大通りに面しているため、夜遅い時間でも人通りがある。学生と生活リズムが違い、あまり他のフラットメイトに会う機会は多くない静かなフラットだった。フラットの決まりごとはあまりなく、各自が綺麗に節度ある利用をしていたので共用部は常に清潔だった。

ケルン

市街地からトラムで15分ほど離れた閑静な住宅群の一角。スーパー、銀行、郵便局など生活に必要なものは大通り沿いに揃っていて徒歩圏内にあり、静寂で暮らしやすいエリア。平均的なフラットの価格よりやや高め。出張で家を空けがちな大家さんと、もう一人とシェア。こちらもあまりフラットメイトと会う機会の多くない静かなフラットだった。

4-2. 食生活について

グラスゴー

物価が高く、安く買えるものはあまり美味しくないの、自炊が中心。スーパーにはレディメイドや加工済みのものが多い。

ケルン

物価は安く、スーパーだけでなく朝市やアジアンショップなども充実している。自炊が中心。パンやソーセージ、チーズをよく食べるようになった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯は安いスマートフォンを購入しトップアップ式のsimカードを購入した。学校とフラットではWiFiが通っているので、日本から持って行ったスマートフォンをsimカードなしで利用していた。

4-4. 服装について

グラスゴー

9月でも長袖が必要なくらい寒い。室内の暖房が充実しているため、冬は屋内でもTシャツで過ごせる。雨が多いが傘を使うよりもフード付きのウィンドブレーカーなどを持つ方が便利

ケルン

冬は日本と同じくらい寒く、春は5月ごろから徐々にあたたかくなる。グラスゴー同様雨の日はフード付きのウィンドブレーカーでしのぐ人が多い

4-5. 健康管理について

幸い大きく体調を崩すことはなかった。軽度の体調不良は、日本から持ち込んだ整腸剤や漢方で対応した。手首や足首の故障は、薬局で買った塗り薬やテーピングを使用した。

ケルンでサマータイムに入ってから、しばらく時差ぼけのような睡眠不振に陥った。しばらくして時間感覚に慣れることで徐々に落ち着いた。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

足の打撲があったときに、留学保険のヘルプコールを通じて医療機関を予約してもらった。病院までのタクシー代も後日申請予定。

4-7. 課外活動について

グラスゴー
学校で開催されているヨガのレッスンを週1で参加した。

ケルン
インターナショナル委員会に所属していたため、留学生向けのパーティーを数回企画した。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

趣味のジャグリングを通じて、練習仲間を見つけ一緒に公園や体育館で練習をした。

4-9. 日本から持参してよかったもの

使い慣れた化粧品類。文房具などの便利グッズ。薬。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

出汁のパウダーなどの日本食材(スーパーやアジアマーケットでも買えるものが多い)

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

初対面でも打ち解けやすい。時間にルーズ。自己主張が積極的。下手に他人に気を使わない・必要以上に手間をかけない。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

イギリス・マンチェスター&リバプール(観光) (3日間) 2015年9月 2万円
 イギリス・エジンバラ&スコットランド北部(観光) 2015年10月 (2日間) 1万円
 イギリス・湖水地方(観光) 2015年11月 (1日) 8千円
 イギリス・エジンバラ(観光) 2015年12月 (3日間) 5万円
 イギリス・ロンドン(観光・ドイツ渡航のため) 2016年1月 (3日間) 2万円
 ドイツ・ベルリン(観光) 2016年2月 (3日間) 2万円
 ドイツ・ハンブルク(観光) 2016年2月 (2日間) 1万円
 ドイツ・シュトゥットガルト(観光) 2016年2月 (2日間) 2万円
 オーストリア・ウィーン(観光) 2016年7月(3日間) 3万円
 オランダ・アルメール(観光・イベント参加) 2016年7月・8月(7日間) 4万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

友達と出かける、散歩をする、日本の友人と通話、日記を書く

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

グラスゴー美術大学

建築・ファインアート・デザインの学部がある美術大学。学科と学年ごとに授業が分かれていて、専門性の高い教員による手厚いチュートリアルが受けられる。

ケルン応用工科大学

大学の1学科がインターナショナルスクールになっていて、世界各国から学生が集まる。学生に与えられている自由が多く、学生が授業の進行や学校の運営に携わることができる。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

グループワーク

2校とも授業でグループワークをする機会が多かった。多文化間・多分野間の交流は、新しい考え方を得るとともに、自分の考え方を見つめ直すきっかけになった。意見を積極的に主張するグループメイトに囲まれ、最初はあまり発言できなかった私自身も次第に積極的に発言するようになった。時には学生間の意見の対立や、モチベーションの差異に悩んだりもしたが、その度に解決策を考えて積極的に行動を起こす姿勢が養われた。

課題への取り組み方の違い

日本で経験した授業では、細かく条件が設定された課題に対して解決策を考え、先生の細やかな指導を受け入れて軌道修正をしていくものが多かった。留学中に受けた授業の多くは、ある程度の枠組みはあるものの、学生が自由に試行錯誤をして良い雰囲気があった。先生側は学生が良いと思ったものを肯定し、さらに良くするためのアドバイスを学生に与える傾向があった。成果物として良いものを作るだけでなく、その過程で何を学んだかが重視されていて、慣れない分野でも恐れずに行動する姿勢が養われた。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

留学経験者からの情報集め

私の行った大学はすでに留学したことがある人が多かったので、周りに話を聞ける先輩がいて大変助かった。以前同じ大学に留学したことのある先輩がいれば、できるだけ連絡を取っておくこと。ビザ申請や学校での書類手続きは、例年と変わらないものが多いので、事前に必要な情報を集めておくことで手間の大きな節約になる。留学中に生じる細々した問題も相談できる関係を築いておけば、心強い。

恐れずチャレンジする

言語の壁や国民性もあって、初めは他学生よりも消極的になってしまうのは仕方がないことである。しかし言語も専門的な能力も、実際に行動を起こすことで初めて向上していく。失敗しても支えてくれる優秀な学生、先生は周りに大勢いるし、試行錯誤したこと自体が成長になる。何事も恐れずチャレンジしてほしい。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

留学全体を通して、英語での生活、他の文化への適応、他国からの学生とのグループワークなど、日本ではできない経験が多くできた。

得られた一番大きな変化は、課題への取り組み方が変わったことである。

最初は言語の壁や専門技術が未熟だという劣等感によって、グループ内での発言が少なく消極的だった。しかしやがて、他の学生も私と同様に経験したことない課題に直面していて、彼らなりに試行錯誤していることがわかった。徐々に私も自分の言葉で自分の意見を言えるようになり、先生からの意見にも時には反論できるようになった。留学後半の授業では、20人強のグループを部分的に取りまとめる機会もあった。自分から積極的に行動した分だけ成長できることを感じられる1年間であった。

これからの大学院での課題の取り組みも、就職活動への取り組みも、この経験を生かして主体的に行っていきたいと思う。

お疲れ様でした